

第4回 「雪調」に学ぶ講座

食と暮らし—過去：現在：未来

「太郎を眠らせ、太郎の屋根に雪ふりつむ

次郎を眠らせ、次郎の屋根に雪ふりつむ」

三好達治の二行詩「雪」は、「版画のような休息の世界を感じさせる名作」と言われている。しかし、除雪に汗を流す雪国の住人にそんな感慨はない。この詩が、発表された昭和5年は、政府が、初めて、「雪は災害である」ことを認めた年である。政府は、「雪害」を認めた3年後、新庄に、「雪調（積雪地方農村経済調査所）」を設置した。ここでは、北海道から東北、北陸まで1道11県を範囲として、雪国農山村の経済更生（暮らしの立て直し）のために、調査、研究、指導を行ったのである。「雪調」が残した膨大な調査研究資料の中で、今回は、「東北地方における農家生活に関する調査」（雪調報告第47号）をとりあげます。この調査は、昭和15年（1940）に、2集落（最上町大堀集落と戸沢村下松坂集落）の72戸を対象にしています。戦争が長期化するなかで困窮する農家の負債整理や、農村にも生活の合理化が求められ、その対策の資料として、つくられたものと思われます。この資料をよみときながら、この70年の間、なにが変わって、なにが変わらなかったのか、「食」の過去・現在・未来について考えてみたいとおもいます。是非、ご参加ください。

記

日時 平成26年3月29日（土）PM1:30～8:00

場所 新庄市「山屋セミナーハウス（学習会・交流会・宿泊）

新庄市金沢3036-2 ☎0233・22・3527

内容

1 報告と提案（PM1:40～）。

- ◆ 雪調の建物の登録文化財指定について。
- ◆ 松田甚次郎展の開催報告と映画製作について。
- ◆ その他

2. 学習会（PM2:30～5:00）

講演 結城 登美雄さん（民俗研究家）

3 ディスカッション（PM4:00～5:00）

<休憩>

4. 交流会（PM6:00～8:00）

参加費 学習会（1000円）交流会（2000円）宿泊（朝食付2000円）

主催 ネットワーク農縁

共催 最上の元気研究所・ゆかいな勉強会・スローフード山形最上ブロック

協賛 手仕事フォーラム

申し込み ネットワーク農縁・佐藤まで。E-mail kamuro1365@white.plala.or.jp

☎09044772013 fax0233292085

※3月20日頃まで申し込みをお願いします。

| 氏名 | 住所 | 連絡先 | 参加希望イベント | | |
|----|----|-----|----------|-----|----|
| | | | 学習会 | 交流会 | 宿泊 |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |